

2020年 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年(2020)の傾向

総評・講評(大問毎に)

理系

① (図形と計量)

易しいので計算ミスに注意。ベクトルを用いない解法もある。

② (図形と方程式) 円と直線の位置関係を問う問題。

場合分けをしっかりと行う必要がある。

③ (整数・数学的帰納法)

(1) 数学的帰納法を用いた不等式の証明。論理の構成力が求められる。

(2), (3) は易しい

④ (確率)

まずは問題の解釈をしっかりと行う。余分な情報があると計算が複雑になりがち。

⑤ (複素数平面)

(1), (2) は計算するだけ。(3) の示し方が少し悩みどころだが簡潔さを求めなければ何とかなる。

⑥ (積分)

積分漸化式を導く。小問の誘導に従えば難しくはない。

総評

全体的に昨年に比べ易化。その分、少しのミスが大きく響く。満点の人も少なくなっているのではないかと。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【理系】

理学部	75 %	薬学部	75 %	保健/ 放射線	65
医学部	80 %	工学部	70 %	"/検査	65
歯学部	70 %	農学部	65 %	経済学部	60 %

3 来年受験する生徒へのアドバイス

参考書などで典型的な問題は確実に解けるようにしておこう。確率に関しては複雑な設定のものや、丁寧な場合分けが求められるものが出題される可能性がある。あるので、読解力・記述力を鍛えておこう。